

コーポレート・ガバナンス体制の強化について

東洋建設株式会社（代表取締役社長：大林 東壽）は、2023年12月20日付で、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、コーポレート・ガバナンスの進化・高度化に取り組むことを決定しましたのでお知らせいたします。

具体的な取り組みといたしまして、①取締役会の議長と業務執行機関の意思決定者を分離する体制とする、②取締役会の構成の過半数を独立社外取締役とする、③役員指名・報酬委員会の委員長を独立社外取締役とする、④業務執行の意思決定プロセスに「機関決定」の概念を導入する、⑤経営の監督と執行の分離を念頭に置いた各種会議体の機能と運営を再定義することを決定いたしました。

当社は、引き続き最適なコーポレート・ガバナンスを推進し、中長期的な企業価値の向上を実現していくことが、株主をはじめとするステークホルダーや社会全般から信頼される企業として存続する基盤になると考えています。


なお、当社のコーポレート・ガバナンスの詳細については、以下「コーポレート・ガバナンス報告書」をご覧ください。

https://www.toyo-const.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/12/corp_gov_20231220.pdf

添付資料：当社コーポレート・ガバナンス体制図

以 上

ガバナンス体制図 (2023年12月20日現在)

社内取締役  独立社外取締役 